

ディアナ剤を含む育苗箱施用剤の 水稲害虫フタオビコヤガに対する防除効果

- 移植3日前～移植時に薬剤・50g／箱を処理するだけで、
高いフタオビコヤガ防除効果と長い残効が得られます。
(効果・残効はスピノ剤、フェルテラ剤と同程度。多発ほ場でも安心!!)
- 基本防除体系は育苗箱施用＋穂ばらみ期の本田散布です。

フタオビコヤガの成虫と幼虫



成虫(♀)

体長約1cm
羽の2本の帯模様が特徴です

幼虫(老齢)

孵化直後は体長約1mm
その後、約2cmぐらいになります

フタオビコヤガ幼虫の食害のようす

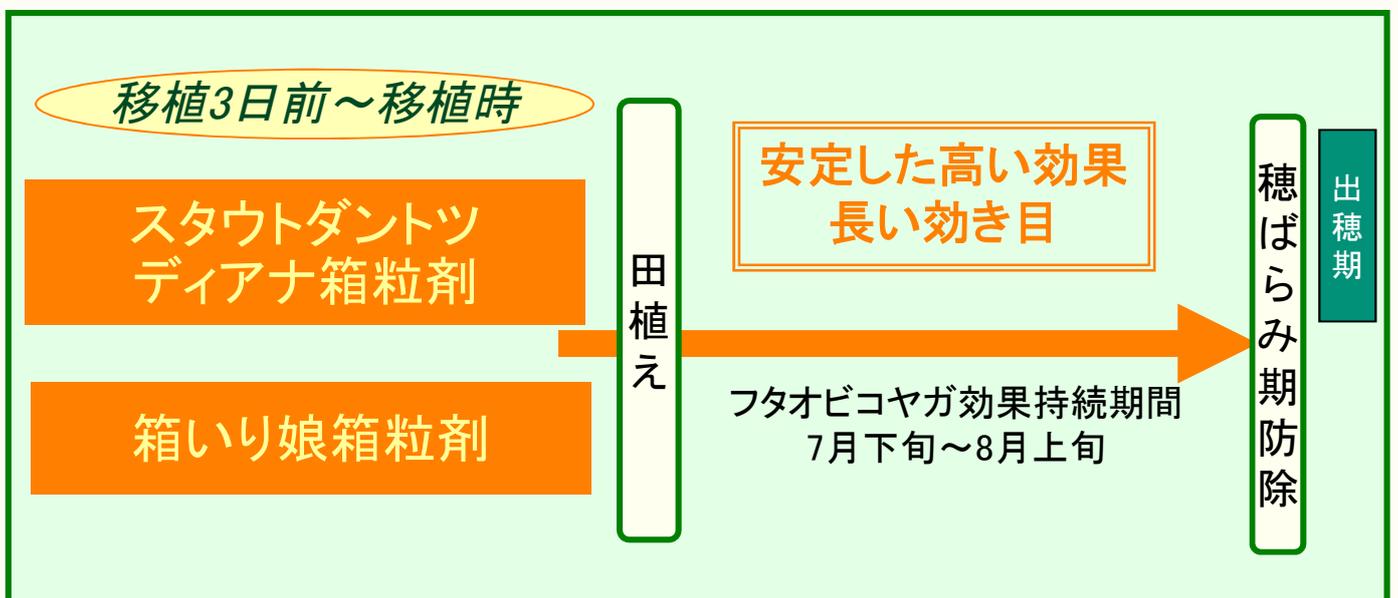


成長した幼虫の食害

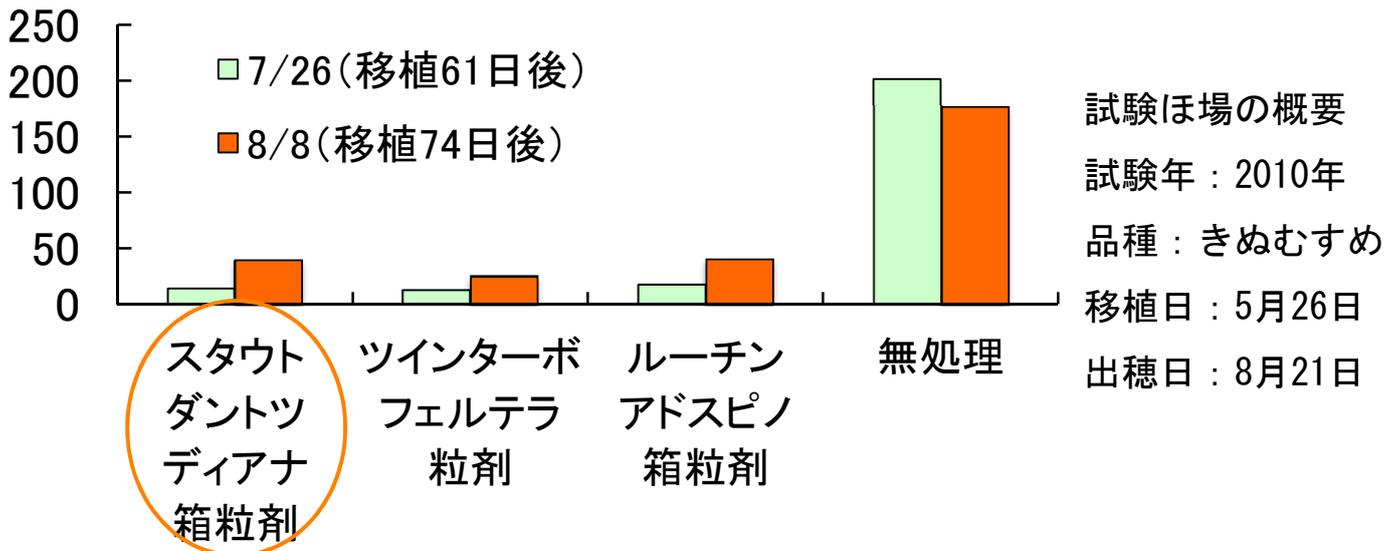
- ・葉を階段状に食べます
- ・成長するにつれて食害量が急増し、葉を食べ尽くします

若い幼虫の食害

- ・白いカスリ模様を残して食べます
- ・食害量は少ないです

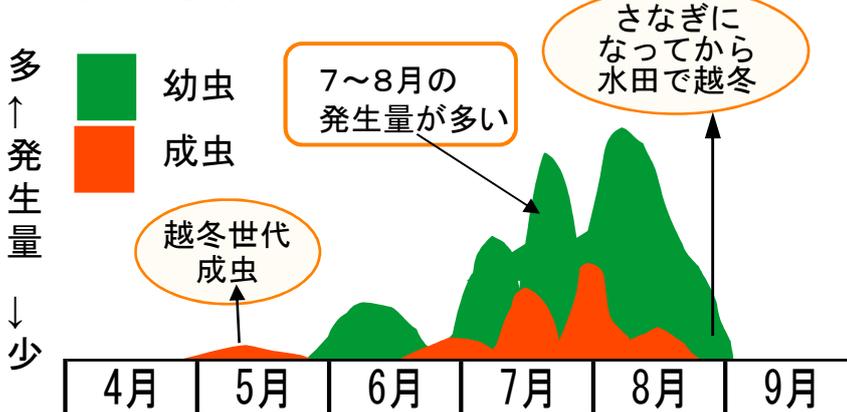


【フタオビコヤガに対する各種育苗箱施用剤の防除効果】



【フタオビコヤガの発生生態】

<発生時期と量>



<多発しやすい条件>

- ・ ほ場の湿度が高い
曇天や雨の日が続く年
風通しの悪い水田や地域
株の繁茂度が高い
- ・ イネの葉色が周辺より濃い
遅植、中生品種は要注意
- ・ 越冬するさなぎの量が多い
- ・ 中山間地、山際のほ場で特に注意が必要

【成果を活用する際の留意事項】

- ①2012年8月20日現在、ディアナ剤(スピネトラム0.5%)を含む育苗箱施用剤として、スタウトダントツディアナ箱粒剤と箱いり娘箱粒剤が農薬登録されています。これらの剤の移植3日前～移植当日処理は、鳥取県主要水稻初期病害虫に対して、実用的な防除効果および残効性を示す。
- ②育苗箱施用剤を使用したほ場においても、周辺ほ場での発生が非常に多い場合には、穂ばらみ期以前の追加防除が必要となるので、発生状況には十分注意してください。
- ③追加防除のめやす(暫定版)は下記の条件がすべて満たされた場合です。
 - ・ 発生の主体が約1.2cm以上の幼虫
 - ・ 被害株率が90%以上
 - ・ 食害面積率が10～20%の場合
- ④薬量が不足すると防除効果が低下するので、規定量を丁寧に散布してください。